

1/22 継続した取組みに評価

扇切保存会が熊日緑のリボン賞



受賞を報告した扇切保存会のメンバー

狩尾地区で扇切りを行っている扇切保存会が熊日緑のリボン賞を受賞、市長に報告しました。同賞は熊本日日新聞社主催で県内の人知れず善行を続けている人へ援助を必要とする人を長年にわたって支えているグループなどを顕彰する賞です。扇切りは明治時代末期に始まったとされており、1997年からは狩尾3区の有志により立ち上げられた同会が継承しています。鎌倉昭幸会長は「若い世代に引き継ぎ、これからも扇切りを継続していけたら」と抱負を語りました。

1/22 医療従事者を支援

農業委員らが阿蘇医療センターに寄付



岩下浩徳職務代理者（左）と木村広典会長（中央左）

農業委員と農地利用最適化推進委員が、新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者を応援しようと、阿蘇医療センターに現金を寄付しました。農業委員会の木村広典会長は「九州北部豪雨や熊本地震、中岳の爆発的噴火など災害で農地が傷つくとともに市民の皆さまに支援を頂いた。その恩返しができる」と話しました。農業委員・農地利用最適化推進委員は、担い手への農地利用の集約化、遊休農地の発生防止、新規参入の促進など、農地利用の最適化を推進しています。

2/2 鬼は外！福は内！

YMCA 尾ヶ石保育園で豆まき



6歳児（後列）が鬼に扮して豆まき

YMCA 尾ヶ石保育園（久保誠治園長で節分の豆まきが行われました。節分は立春の前日。地球の公転周期が365日ではないため立春が1日ずれ、それに合わせて今年には1897年以来124年ぶりに2月2日が節分となりました。今年の鬼役を担当したのは6歳児8人。「マスク鬼」や「泣き虫鬼」などの手作り衣装を身に付けて園庭に登場すると、0〜5歳児が紙で作った豆や大豆などを「鬼は外！福は内！」と元気に投げつけました。

2/1 市税徴収向上目指す

阿蘇郡市7市町村間で税務職員相互派遣



納税については税務課にご相談ください

阿蘇郡市7市町村による「市町村税等の徴収向上対策」にかかる職員派遣に関する協定を締結しました。この協定では、阿蘇管内の市町村税務職員を相互に派遣し合うことで悪質な滞納者への財産差押えなどの強化につなげます。税金の滞納は納期内に納付をしている多くの人々との公平性を欠くばかりか、市の財政を圧迫し、住民サービスに支障をきたします。納期内の納付が困難になった場合は、すぐに税務課 ☎ 22・3148 にご相談ください。



2/5

初めての野焼き

一の宮小の児童が野焼き体験



たいまつで火を入れる児童

一の宮小4年生による野焼き体験が町古閑牧野組合で行われました。国立阿蘇青少年交流の家が児童に草原環境保全への意識を高めてもらおうと主催したもので、66人の児童が参加しました。野焼き体験を指導したのは市原啓吉同牧野組合長や野焼きボランティア。児童らが力や束ねたたいまつで牧野に火を入れると炎は勢いよく燃え上がりました。児童たちは「熱い」「すごい」などと歓声をあげながら野焼きを行いました。

野焼き体験は阿蘇小でも実施されました。

2/3

感染予防に役立てて

株熊阿建設工業が除菌ウェットティッシュを寄贈



株熊阿建設工業の岩下社長（中央左）と佐藤哲文さん（左）

株式会社熊阿建設工業（岩下哲也代表取締役社長）が市役所を訪れ、市内の小中学校に対して除菌ウェットティッシュ120ケースを寄贈しました。

同社の地域貢献活動の一環として、教育現場での新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に役立ててもらおうと寄贈されたもので、岩下社長は「新型コロナウイルス感染症の感染が広がる中、教育現場での感染予防は現場の先生が担っており、とても大変な作業だときいた。先生たちの作業が少しでも楽になれば」と話しました。

2/12

山上観光の拠点に

阿蘇山上ターミナル竣工



建物は周囲の自然と融和したデザイン

九州産交ツーリズムが、旧阿蘇山ロープウェイの阿蘇山西駅跡で「阿蘇山上ターミナル」の営業を開始しました。

ターミナルは、阿蘇駅からの路線バスと火口へのシャトルバスの乗り継ぎ拠点となるほか、休憩施設や土産物店、火口に関する情報の発信拠点としての機能も備えています。

建物は災害に備えた鉄筋コンクリートづくり。火山ガスを含んだ外気の流入を抑えるエアカーテンも装備しています。

これから阿蘇山上観光の拠点としての役割が期待されます。

2/12

地域で役立てて

阿蘇市母子寡婦福祉連合会がスリッパ寄贈



阿蘇市母子寡婦福祉連合会のみなさん

阿蘇市母子寡婦福祉連合会（岩下札子会長）が一の宮町宮地の農業構造改善センターにスリッパ20足を寄贈しました。

地域貢献活動の一環として寄贈されたもので、同会が行うひとり親世帯の子どもに対する学習会が同センターで行われていることから、今回の寄贈となりました。

同会はひとり親世帯および寡婦の支援を目的として、学習会の他に、キャンプ場でのバーベキューやグラウンドゴルフ、クリスマス会などさまざまな活動を行っています。